8. ロスナイの診断のお願い

長い間ご使用のロスナイは、使用上支障がなくても、安全のための診断をお願いします。

■次のような現象がある場合は、事故防止のためすぐに電源を切ってお買い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。(有料)

★ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

- スイッチを入れてもときどき羽根が回転しないことがある。
- 回転が不規則である。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- こげ臭い〝におい〟がする。

9. アフターサービス

三菱住宅用ロスナイのアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、当社のご相談窓口(取扱説明書同封一覧表の最寄りの三菱電機お客さま相談センター)にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

ロスナイは換気扇に準じます。

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客さまへ

形名	VL-1200AM	家電品 愛情点検 明るいくらし
お買い上げ年月日	年 月 日	
お買い上げ店名 (住所) (電話番号)	( )	

三菱電機株式会社
〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)

9009A⊕R
588H60540

MITSUBISHI

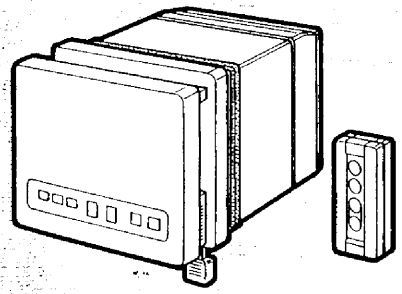
三菱住宅用ロスナイ〈エアモニター〉

形名

VL-1200AM

取扱説明書

お客さま用

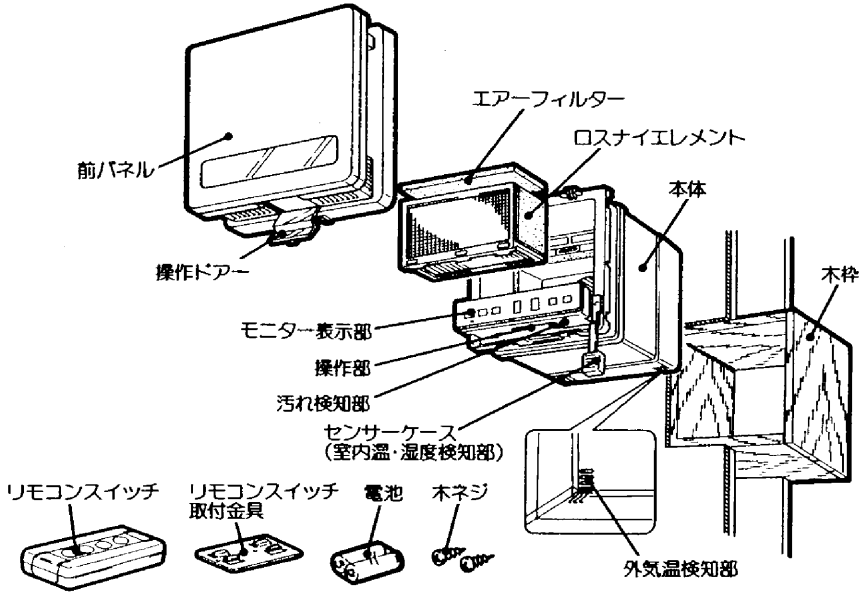


もくじ

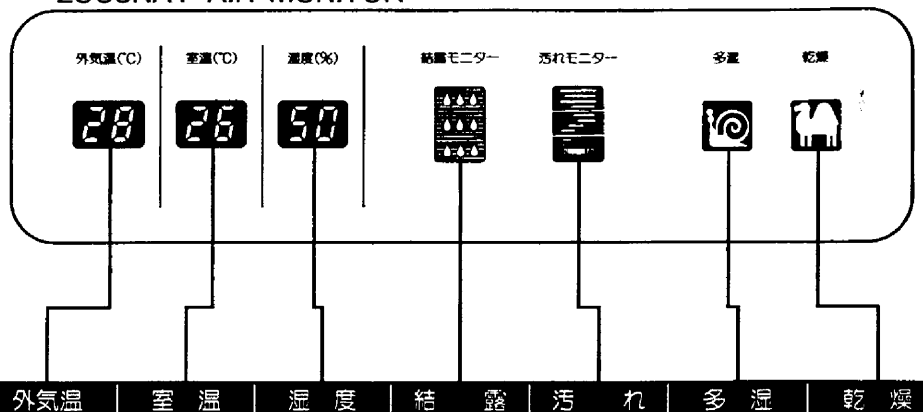
ページ
1. 各部の名称とはたらき……1~2
2. 機能と特長……3
3. 必ずお守りください……4~5
4. 使用方法……6~11
ご使用前の準備……6
設定方法……6~7
運転方法……8~10
リモコンスイッチについて……10~11
長期間ご使用にならない場合……11
5. お手入れのしかた……11~13
6. 仕様……14
7. サービスをお申し付けの前に……14
8. ロスナイの診断のお願い……15
9. アフターサービス……15

このたびは三菱住宅用ロスナイをお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、この説明書は保存しておいてください。ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、お役にたちます。

1. 各部の名称とはたらき



モニター表示部

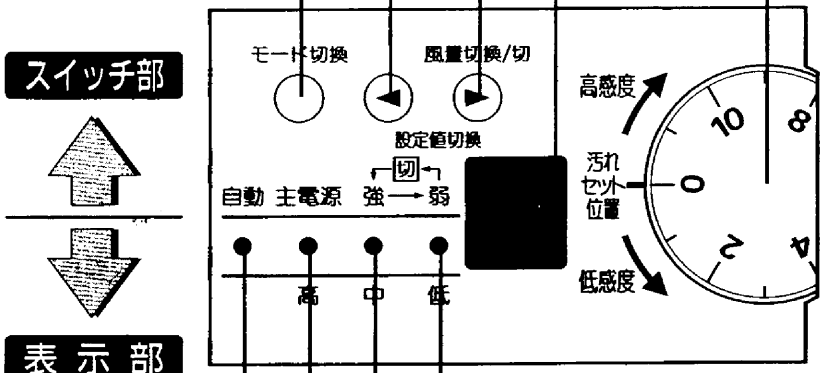


外気温表示部	室温表示部	湿度表示部	結露モニター	汚れモニター	多湿マーク	乾燥マーク
室外の気温を表示する（30分間の平均値を表示）	室内の気温を表示する（1分間の平均値を表示）	室内の相対湿度を表示する（1分間の平均値を表示）	壁の結露予測を3段階(ランプ点灯)で表示する	空気の汚れ状態を3段階(ランプ点灯)で表示する	多湿状態のとき点灯する	乾燥状態のとき点灯する

操作部

モード切換スイッチ	設定値切換スイッチ	設定値切換スイッチ兼入・風量切換スイッチ	リモコン受信部	汚れ感度調整ダイヤル
運転モード、設定モードの切換えを行います	設定モード時、設定値を低くする 運転モード時は働きません	運転モード時、風量を入強・弱・切と切換える 設定モード時、設定値を高くする	リモコンスイッチからの信号を受信する	汚れ検知の感度を調整します

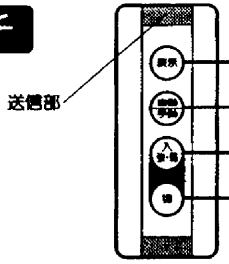
スイッチ部



表示部

自動運転ランプ	主電源ランプ兼「高」表示ランプ	「強」表示ランプ兼「中」表示ランプ	「弱」表示ランプ兼「低」表示ランプ
自動運転時、点灯します	運転モード時、電源スイッチが「入」のとき点灯します 設定モード時、設定値が「高」のとき点滅します	運転モード時、強運転のとき点灯します 設定モード時、設定値が「中」のとき点滅します	運転モード時、弱運転のとき点灯します 設定モード時、設定値が「低」のとき点滅します

リモコンスイッチ



表示切換ボタン	モニター表示部の表示を点灯させたり、消灯させたりします
自動・手動切換ボタン	自動運転と手動運転を切換えるボタンです
入・風量切換ボタン	運転開始と風量の「強」・「弱」を切換えるボタンです
切ボタン	運転を停止するボタンです（風量表示ランプ消灯）

2. 機能と特長

ロスナイ〈エアモニター〉は住宅における目に見えない空気の状態をセンサーにより検知して表示する機能を持ち、空気の汚れや壁面結露を視覚でわからせると同時にロスナイを自動運転します。

■市販の除湿機、加湿器と別売部品の接続スイッチを介して連動運転することができます。

機 能

1. 外気温、室温、湿度(室内)をデジタル表示します。

- 外気温はロスナイ本体室外側にあるセンサーにより30分間の平均値が表示されます。30分間は表示がかわりません。
- 運転停止状態でも外気温を検知するため、30分に1回5分間、間欠運転を行います。(強・弱表示ランプはつきません。)
- 室温及び湿度はセンサーケース内のセンサーにより約1分間隔でその平均値を表示します。1分間は表示がかわりません。
- 上記のことから急激な変化にデジタル表示は追随できません。

2. 空気の汚れを検知し、汚れモニターで表示するとともにロスナイの自動運転をします。(汚れモニター……3段階表示)

- 検知できる空気の汚れ
  - 一酸化炭素
  - タバコの煙に含まれるガス他、
  - 有機ガス
- 検知できない空気の汚れ
  - 炭酸ガス
  - 砂や綿ぼこり
  - 油気や臭いなど

3. 壁面結露を予測し、結露モニターで表示するとともにロスナイの自動運転をします。(結露モニター……3段階表示)

- 結露予測のしかた……空気線図をもとに室内の温・湿度から室内の露点温度を求め、外気温から室内壁面温度を計算し壁面温度が露点温度より低いと結露するという予測を出します。

4. 表示部に多湿状態・乾燥状態を表示しますので、市販の除湿機、加湿器を別売部品の接続スイッチを介して接続すれば連動運転もできます。

5. リモコンスイッチにより手元で操作ができます。またリモコンスイッチを紛失した場合でもロスナイ本体操作部によりロスナイの運転はできます。

6. 自動運転と手動運転を選択することができます。

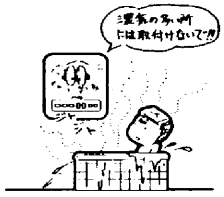
3. 必ずお守りください

取付場所が悪いと事故や故障の原因になります。次のような場所に取付けられていないか確認してください。

1

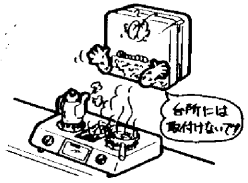
×

高温や直接炎が当たる場所に取付けられていないか確認してください。
(製品の故障の原因になります。)

2 

×

浴室、洗面所など湿気の多い場所に取付けられていないか確認してください。
(感電や故障の原因になります。)

3 

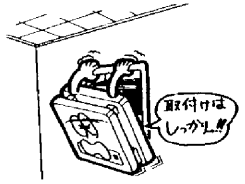
×

台所など油煙の多い場所に取付けられていないか確認してください。
(前パネルなど破損の原因になります。)

4

×

天井面に取付けられていないか確認してください。
(製品の落下、モーターの故障の原因になります。)

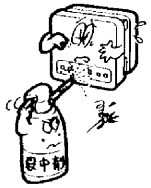
5 

×

確実に取付けられているか確認してください。
(異常音・振動の原因になります。)

3. 必ずお守りください つづき

使用上下記の点にご注意ください。

1 

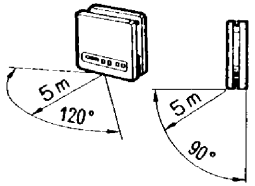
×

スプレー(殺虫用・整髪用・掃除用など)をかけないでください。
(前パネルが破損・変質する原因になります。)

2

×

リモコンスイッチの取扱いはていねいに行ってください。落としたり、強い衝撃を与えたり、先のとがったもので押したり、必要以上に強く押さないでください。
(故障の原因になります。)

3 

リモコン操作は左図の範囲内で行ってください。またロスナイ本体受信部とリモコンスイッチの間に障害物を置かないでください。
(リモコン操作ができなくなります。)

■リモコンスイッチの送信部に傷をつけないでください。十分な操作ができなくなります。
■リモコンスイッチのボタンを2個以上同時に押さえないでください。希望通りに動作しません。

4 [redacted]

- 空気の汚れを検知しても酸素欠乏や一酸化炭素中毒などの防止機器ではありませんのでご使用を誤らないでください。特に開放形ストーブを使用される場合はストーブ取扱説明書に従って換気をしてください。
- 有機ガスを検知しますがガス漏れ警報器ではありません。また可燃性ガスの発生する場所では危険ですから絶対使用しないでください。

5 [redacted]

- 結露モニターが表示する壁面結露予測範囲はロスナイが設置されている壁面(外気に面している)であり、窓ガラスや隣室、押し入れなどではありません。

6 [redacted]

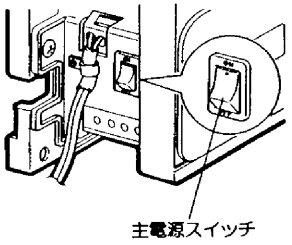
- 外気温・室温・湿度を表示しますが計量法に基づく計測機器ではありません。
- 表示は目安であり、特にロスナイ停止時には強い風が吹いたり、他の部屋で換気扇などを回すと、表示が狂うことがありますが、ロスナイが運転されれば正常に戻ります。

7 寒冷地ではロスナイの運転停止時に冷気が侵入することがあります。

4. 使用方法

ご使用前の準備

1. 前パネルを外します。
   手掛部を手前に引いて外し上部の引掛部より外します。
2. 主電源スイッチを「ON」にします。
   本体操作部の主電源ランプが点灯しているか確認します。同時に初期運転を約5分間行います。
3. 元通り前パネルを取付けます。

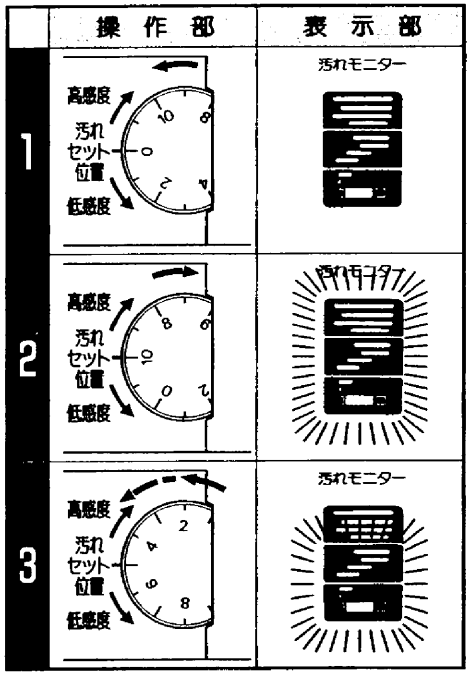


設定方法

1. 空気の汚れの感度調節のしかた……必ず行ってください。

※室内の空気がきれいなときに行ってください。
※主電源を入れて5分間の初期運転が終ってから行ってください。(5分以内は設定できません。)

1. 操作ドアーを開けて、汚れ感度調整ダイヤルを「左」いっぱいまで回して「0」にし、汚れモニターが点灯していないことを確認します。
2. 感度調整ダイヤルを右へ「10」まで回し、汚れモニターが3つとも点灯することを確認します。
3. 感度調整ダイヤルを左へゆっくり回しますと、汚れモニターの3つ目が消灯する位置があります。その位置からさらに1/4目盛りくらい左(低感度側)へ回した位置でセット完了です。



ご注意

- センサーの感度は気温によっても多少影響を受けます。季節の変わり目には感度調節を行ってください。
- 図の目盛りの数字は目安とお考えください。

4. 使用方法 つづき

2. 多湿検知・乾燥検知レベルの設定のしかた…市販の除湿機、加湿器と接続する場合のみ

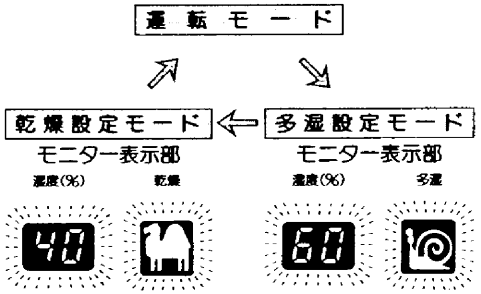
多湿検知及び乾燥検知は検知する湿度を3段階(高・中・低)で設定できます。(右表参照)
工場出荷時は「中」にセットされています。

多湿・乾燥を検知する湿度(%)

モード＼設定	低	中(標準)	高
多湿	55	60	65
乾燥	35	40	45

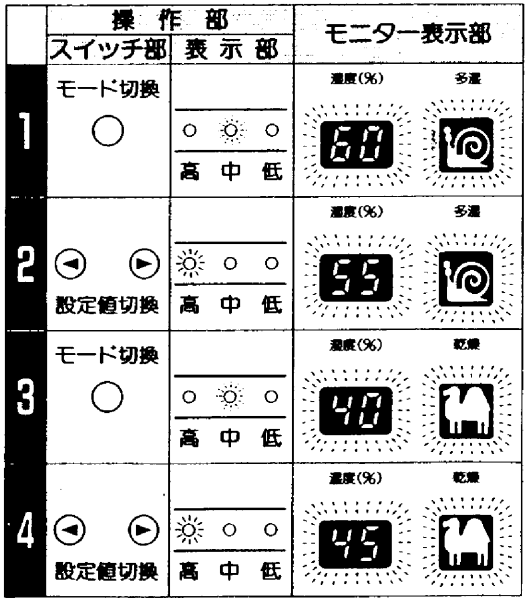
■レベルを変更するにはモード切換スイッチを押し設定モードに切換えます。そのとき運転中の場合は全てが停止します。
- ●ロスナイ運転停止
- ●外部出力(除湿機、加湿器)への信号停止
- ●モニター表示部点滅、ただし図のように初期設定では多湿設定モードのとき「60」と多湿マークが点滅します。
  2度目以降の場合は前の数値を記憶していますのでその数値が点滅します。乾燥設定モードも同様です。
- ●自動モード解除(手動運転になる)

■モード切換スイッチは押すたびに右図のように変わります。多湿のみまたは乾燥のみを設定する場合は設定しないモードは送りません。



多湿検知レベル低(55%)、乾燥検知レベル高(45%)にする場合……例

1. **操作ドアーを開けモード切換スイッチを押して多湿設定モードにします。**
   「中」が点滅すると同時にモニター表示部に「60」・「多湿マーク」が点滅します。
2. **設定値切換スイッチ◀を押します。**
   (「高」にする場合は▶を押します。)
3. **モード切換スイッチを押して乾燥設定モードにします。**
   「中」が点滅すると同時にモニター表示部に「40」・「乾燥マーク」が点滅します。
4. **設定値切換スイッチ▶を押します。**
   (「低」にする場合は◀を押します。)
5. **モード切換スイッチを押し運転モードに戻します。**



運転方法

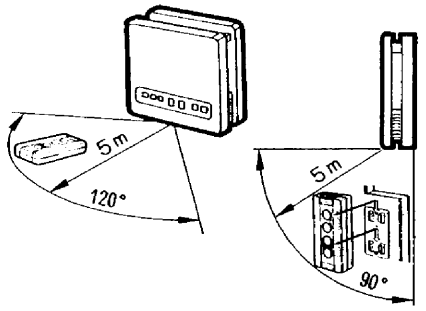
運転はリモコンスイッチで行いますが、本体の操作ドアーを開けて操作部で行うこともできます。

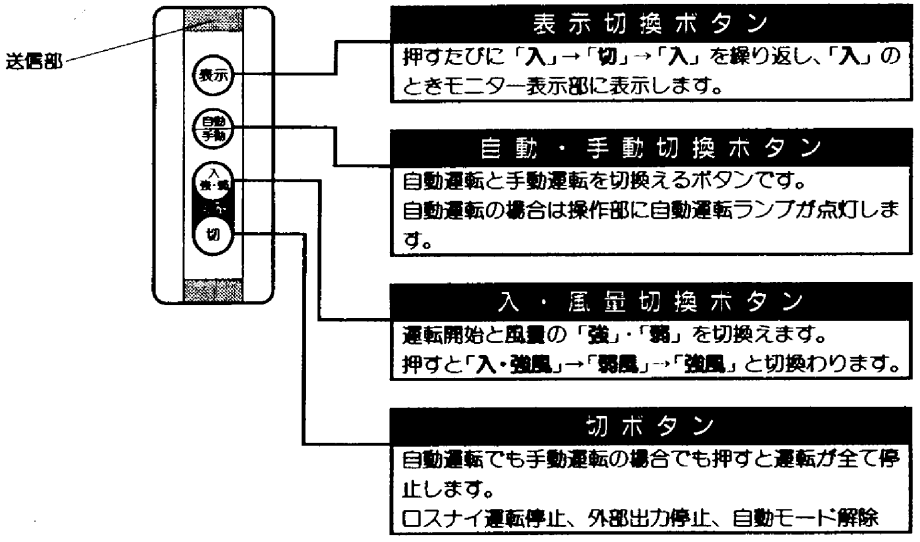
■各スイッチは軽く押してください。押すたびに「ピッ」と音がします。

リモコンスイッチ操作方法

右図の範囲内で操作してください。自動運転または手動運転を行うことができます。

※自動運転とは……9ページ参照
※手動運転とは……モニター機能とロスナイ機能が独立機能となり、結露モニター・汚れモニターを目で見てロスナイの運転・停止を行う。





ご注意

- ●主電源スイッチを「ON」にしてから初期運転中の約5分間は自動運転モードになりません。
- ●モニター表示がまぶしいときは表示切換ボタンで消灯させます。

4. 使用方法 つづき

自動運転と運転パターン

1. 自動運転とは ……空気の汚れを検知し、汚れモニターを点灯するとともにロスナイの運転を行う。また、壁面結露を予測した場合も結露モニターを点灯するとともにロスナイの運転を行う。

なお、別売部品の接続スイッチを介して接続した市販の除湿機、加湿器の運動運転も多湿、乾燥モニターの点灯とともに行う。

2. 自動運転するには……リモコンスイッチでしか行えません。

停止状態から

1. リモコンスイッチの「自動・手動切換ボタン」を押し操作部に自動運転ランプを点灯させます。
2. リモコンスイッチの「入・風量切換ボタン」を押して風量を選択すると同時にロスナイの運転を行います。
   強制運転を約5分間行いその後センサーによる自動運転を行います。

	リモコンスイッチ	操作部表示ランプ
1	自動 手動	自動 主電源 強→弱 ○ ○ 高 中 低
2	入 強・弱 風量	自動 主電源 強→弱 ○ 高 中 低 (強風運転の場合を示す)

手動運転状態から

1. リモコンスイッチの「自動・手動切換ボタン」を押し操作部に自動運転ランプを点灯させます。
2. 強制運転を約5秒間行いその後センサーによる自動運転を手動運転のときと同じ風量で行います。

	リモコンスイッチ	操作部表示ランプ
1	自動 手動	自動 主電源 強→弱 ○ 高 中 低 (手動運転時、強風の場合を示す)

ご注意

- 強制運転中には「自動・手動切換ボタン」を押しても切換わりません。(風量切換、表示、切は切換わり、切によって手動に戻ります。)

3. 停止するには……本体操作部でも行えます。

1. リモコンスイッチの「切」ボタンを押します。
   主電源ランプのみ点灯し、ロスナイの運転・外部出力を停止します。
   モニター表示部の表示は消灯しません。

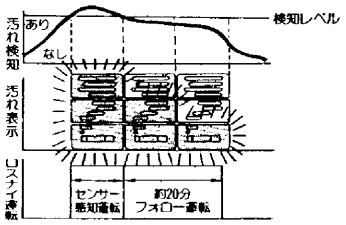
	リモコンスイッチ	操作部表示ランプ
1	切	自動 主電源 強→弱 ○ ○ ○ 高 中 低

4. 運転パターン

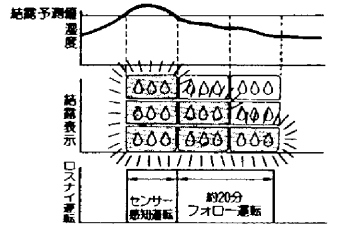
自動運転モードでは空気の汚れを検知するとともに結露状態の予測をし、ロスナイの運転を行います。

多湿・乾燥検知時には外部機器(除湿機・加湿器)の「入・切」信号を出力しますがロスナイの運転は行いませんのでご注意ください。

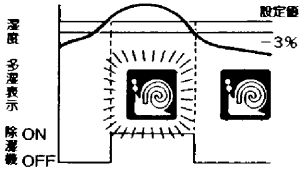
■汚れモニターとロスナイ運転例



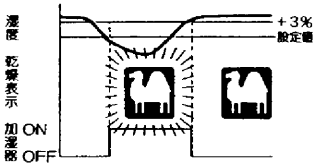
■結露モニターとロスナイ運転例



■多湿表示と外部機器運転例



■乾燥表示と外部機器運転例



ご注意

- 外部機器(除湿機・加湿器)を運転するには外部機器接続スイッチ(別売部品)が必要です。

操作部で行う場合 ……手動運転

1. 運転

風量切換スイッチを押します。

押すたびに「強」→「弱」→「切」に切換わります。

- 強運転の場合は強運転表示ランプ、弱運転の場合は弱運転表示ランプが点灯します。

操作部	
スイッチ部	表示部
風量切換/切 ▶	自動 主電源 強→弱 ○ ○ ○ ○ 高 中 低 (強運転の場合を示す)

2. 停止

風量切換スイッチを1度または2度押すことにより停止します。

リモコンスイッチについて

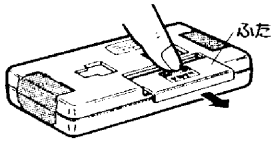
1. 付属部品を確認してください。

4. 使用方法 つづき

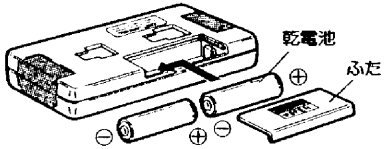
2. 電池の入れ方(交換のしかた)

付属の電池(単四形乾電池1.5V2本)を入れます。(UM-4 1.5V)

1. リモコンスイッチの裏側のふたを表示に従って押して開けます。



2. 電池の極性(+・−)を表示に合わせて入れ元通りふたを閉めます。

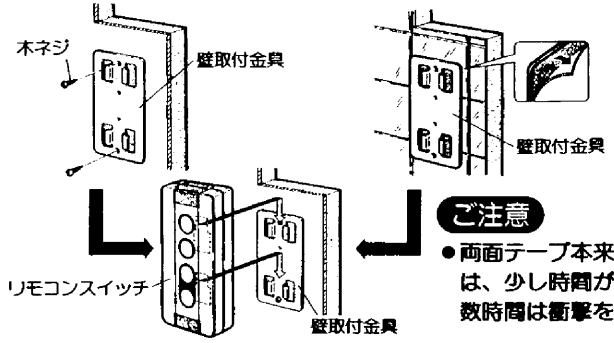


ご注意

- ふたの取扱いはていねいに行ってください。
- 交換の場合は乾電池2本とも交換してください。

3. 壁取付金具を使用し取付ける場合

■壁取付金具は壁などの材質に合わせ木ネジで止める方法と、両面テープで止める方法とがあります。



ご注意

- 両面テープ本来の粘着力が出るまでには、少し時間がかかります。貼付後、数時間は衝撃を与えないでください。

長期間ご使用にならない場合

前パネルを外し、主電源スイッチを「OFF」にすることをおすすめします。電源を入れたままですとロスナイは停止していてもセンサーによるモニター表示がされていますので約5Wの電力を消費します。

5. お手入れのしかた

ロスナイの機能低下を防ぐため、エアーフィルター・ロスナイエレメントに付着したごみ、ほこりを定期的に清掃してください。

■お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の着脱を行わないでください。

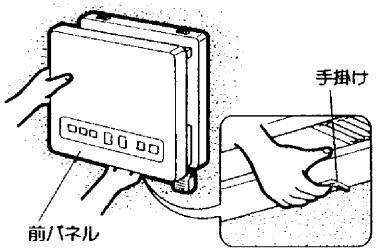
■お手入れの際にモニター表示部・操作部など電子回路部分を危険ですので分解しないでください。

5. お手入れのしかた つづき

各部品の取外しかたと主電源スイッチのOFF

1. 前パネルを外します。

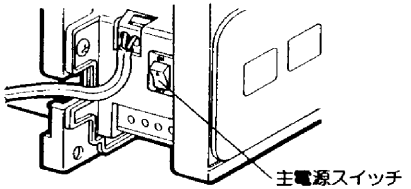
下側にある手掛けに手を入れ手前に引きながら、上へ持上げますと外れます。



2. 主電源スイッチを「OFF」にします。

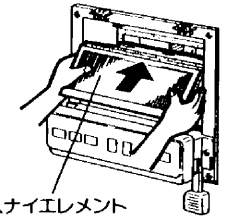
ご注意

- お手入れは必ず主電源スイッチを切って行ってください。



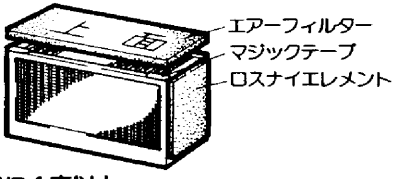
3. ロスナイエレメントを取出します。

ロスナイエレメントの上部を上に押してから手前に引き出します。



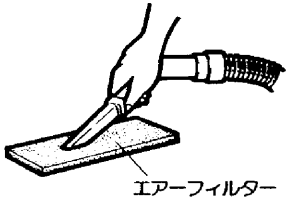
4. エアーフィルターを外します。

エアーフィルターはロスナイエレメントにマジックテープで止めてありますのでそれを外します。



エアーフィルターの清掃 ……1ヵ月に1度以上

エアーフィルターの清掃は、軽く手でたたくかまたは、掃除機でほこりを吸取ってください。
汚れのひどい場合は、水または、ぬるま湯に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かしてください。
熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。



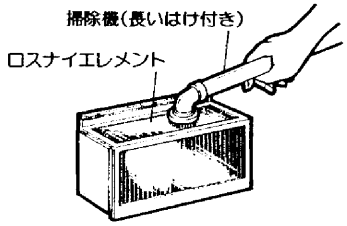
ご注意

- 水洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。
- 火にあぶることは絶対に行わないでください。
- エアーフィルターを入れ忘れますとロスナイエレメント表面にごみが詰まり、風量低下しますので、フィルターを入れ忘れないよう十分注意してください。
- エアーフィルターの再生回数は5〜6回を目安に新部品と交換してください。(別売部品)

5. お手入れのしかた つづき

ロスナイエレメントの清掃 ……1カ月に1度以上

掃除機で表面のごみ・ほこりを吸取ってください。
掃除機のノズルは長いはけ付きのものを軽く当てて清掃してください。



●清掃の際、次のことに注意してください。

1. ロスナイエレメントに水、熱湯、薬品、揮発性の溶剤などをかけないでください。
2. ロスナイエレメントを火に近づけないでください。
3. 針金、ドライバー、掃除機の硬いノズルなどをロスナイエレメントに強く当て、目をつぶしたりしないでください。

前パネル・本体の清掃

●前パネル・本体が汚れてきましたら、中性洗剤を入れたぬるま湯に浸した布を固くしぼってふいてください。洗剤が残らないようきれいな布でふき取ってください。

ご注意

●プラスチック部分の清掃には、次の薬品などは使用しないでください。
揮発性の溶剤(ガソリン、ベンジン、シンナー、灯油、アルコールなど)スプレー、みがき粉、金属タワシ、アルカリ性の石けん水などは絶対に使用しないでください。

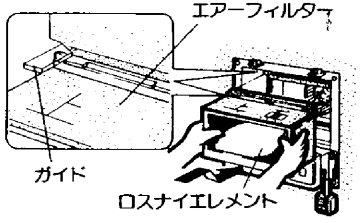
●化学ぞうきんでこすったり長時間接触させたままにしておきますと、変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

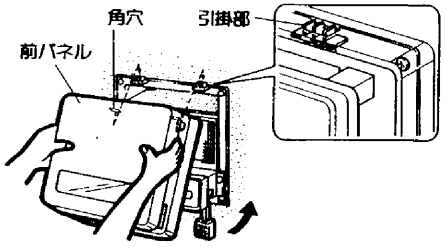
お手入れ後の組立てと確認

●エアーフィルターを取付ける際は「上面」の表示を上側にして取付けてください。

●ロスナイエレメントを取付ける際には、ロスナイエレメント内部の両側のガイドにそってロスナイエレメントを押込んでください。
このとき、ロスナイエレメントの「前面、下側」の表示を確認してください。

●前パネルの取付けは、ロスナイ本体上部にある引掛部に前パネルの角穴をはめ込み下部を押して取付けます。





組立てが終わりましたら次の確認をしてください。

1. 本体・前パネルが確実に取付けられていますか。
2. 異常な音が出ていませんか。
3. 風は正常に出ていますか。

(必ず運転をして確認してください。)

6. 仕 様

		表示範囲			表示方法	
VL-1200AM	表示部	外気温	−15℃〜40℃		結露	3段階表示
		室温	−15℃〜40℃		汚れ	3段階表示
		湿度	30%〜80%		多湿	ON OFF
		表示範囲外の表示	下限以下LL表示	上限以上HH表示	乾燥	ON OFF

	給排	周波数(Hz)	ノッチ	消費電力(W)	風量(㎥/h)	熱交換効率(%)	騒音(ホン)	重量(kg)
ロスナイ部	強制同時給排	50	強	35.5	70	67	39.5	6.5
			弱	24.0	50	70	32	
		60	強	39.5	70	67	39.5	
			弱	25.0	45	70.5	30	

※表示のみの消費電力　5W(50Hz/60Hz)

7. サービスをお申し付けの前に

次の現象が生じた場合は、お客さま自身で下表を参照して処置してください。直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は販売店さま、または工事店さまにお申し付けください。

現象	原因	処置
モニター表示部が1つも点灯しない。	主電源スイッチが「切」になっている。	「入」にします。
	リモコンスイッチの表示切換ボタンが「切」になっている。	「入」にします。
自動運転モードにならない。	電源投入後5分たちましたか。5分以内はできません。	5分間おまちください。
リモコンスイッチの「自動・手動切換ボタン」を押しても切換わらない。	強制運転中です。	一度「切」にして風量切換スイッチを押す。(リモコンスイッチ・本体)
汚れ検知が過敏である。または、動作しない。	汚れ感度設定が正しく行われていない。	汚れ感度設定をし直します。(センサーの感度は季節の変り目に調整が必要です。)
リモコンスイッチが動作しない。	リモコンスイッチの電池が古くなっている。	新しい電池に交換します。
	リモコンスイッチの電池の極性が逆になっている。	正しく入れ直します。
運転中に異常音や振動がする。	本体・パネルが確実に取付けられていない。	取付け直します。